

自分なりの視点から、 洗い加工を探求していきたい。

大段 優希

企画 / サンプル作成



子供の頃からデザインやものづくりに興味があったことから、高校、大学では美術を学んだという大段さん。学生時代に地元水道局のペットボルのデザインに取り組んだそうです。「自分の作った物に対して、手に取った人から反応が返ってくる楽しさを知ったことから、人の手に渡る“もの”のデザインに興味を持つようになりました。」そして、将来は企画やデザインなど、ものづくりに関わる仕事がしてみたいという思いから現在の会社を選びました。

2021年度入社の大段さんは、現在、加工の企画サンプルの作成を担当しています。「入社時のことですが、新しい薬剤を使ったデニムの色出しテストがちょうど始まり、そのメイン担当を任されることになったんです。試行錯誤の末、新しい色出しのサンプルを完成させることができました。自分の提案したサンプルがお客様から好評頂けたことは、励みになっています。」「私自身、繊維に関する専門的な知識や経験もなく、また、県外から就職してきたこともあり、色々な意味でゼロからのスタートでした。多少の不安はありましたが、会社の雰囲気もとても良いですし先輩方からのサポートもあり、充実した日々を過ごしています。少し足を延ばせば、緑豊かな自然環境があるのもいいですね。」「今は、日々、成功と失敗を経験しながら、一つずつ自分の出来ることが増えていくのが、とても楽しいです。」



もっと生の声

Q & A

- やりがいを感じるの、どんな時ですか？
まだ、入社1年目ですが、日々、先輩方の元で洗い加工の知識や技術の一つ一つ学び、吸収していくことにやりがいを感じています。やっぱり、デニムや加工のことは、知れば知るほど“楽しい”ですね！一日があっという間に過ぎ、とても充実しています。
- 今後挑戦してみたいことはありますか？
生地が持つ特性を勉強して、新しい洗い加工の方法を開発してみたいです。学生時代に学んだ美術でもベースとなる素材によって色の見え方やのり方が違うと感じていたことから、それと同じように色落ちのスピード、加工の度合いに違いが出るのではないかと考えています。そうしたことがわかれば、最適な加工や完成後の生地が自分の中でイメージしやすくなり、サンプルの色出しをする際にも役立つのではと考えています。
- 将来繊維業界に就く人へのメッセージをください。
何でも興味のあることに挑戦してみてください。関係がない分野と思っても、将来、思いもよらないところで繋がってくることがありますよ。

